



# ぜぜようちえんだより



令和8年2月  
大津市立膳所幼稚園  
園長 村上 淳子

## —五感を通して経験する—

立春も過ぎて、暦の上では春となりました。幼稚園にある梅の木をつぼみも少しずつ膨らみ、梅花の香りを心待ちにしています。

さて子ども達は、園庭の木々と関わる中で、「なんでだろう?」と不思議さに出会ったり、「きれいだな」「いい匂い」と五感を通して感じたり、実体験を通して豊かに学んでいます。



コンポストをのぞき込みながら、中に入れた落ち葉や木の実の色や形、匂いの変化を感じている子ども達。

フニャフニャのザクロ発見!「前は、堅かったのに…」

### コンポストの実験

保護者の方に作っていただいたコンポストを畑の横に設置して、定期的に子ども達とかき混ぜています。10月下旬頃、子ども達と落ち葉や遊びに使ったザクロやカリンの実を入れて「どうなるのかな…」とワクワク。11月上旬、様子を見に行くと「めっちゃ臭い!前は葉っぱの匂いやったのに!」そして、1月。「(葉っぱが)きれいな時は、臭かったのに、きれいじゃなくなると臭くないな」また、硬かったカリンやザクロの実が「フニャフニャ〜」と柔らかくなっていることにも気づいて「なんでかなあ…」と不思議さを感じている様子です。今は、「だんだん、土になってきてる」「コンポストって土になるってこと??」とコンポストの中で葉っぱや実が変化していく様子に興味津々な子ども達です。

### 「あっ、種が出てきた!」

カリンやザクロ、柿などの実を使って遊んでいたら、いろいろな種が出てきて、興味をもった子ども達は園庭のあちこちに植えて育てています。毎日毎日、「大きくなりますように」と心を込めて水やりをしている子ども達。でも、なかなか芽が出てこなくて・・・「種さん、ごめんね。ちょっと寒いけど見せてね」と土を掘って種の様子を確かめると・・・「なんか、膨らんでる!大きくなって!」芽は出てこなくても、土の中で大きく膨らむ種の様子を発見。早速、クラスの友達にも知らせ、「ごめんね起こして、寒いのに失礼しました」と戻していました。土の中での種の変化に気づき、毎日のお世話を通して種へ寄せる気持ちも少しずつ膨らんでいます。



「寒いのにごめんね。大きくなってね」

看板も立てて、みんなにお知らせ。



## 編集後記

膳所幼稚園長 村上 淳子

幼児期に五感を通して「見て」「触れて」「感じる」といった体験を通して学ぶことは、豊かな感性を磨き、考える力の育ちにつながります。知識を教え込むのではなく、身近なものに関わる中で、実体験を

通して得られる子ども自身の気づきを大切にしたいと考えています。

子ども達の知的好奇心や探求心、思いやりの心が育まれていく園生活を積み重ねたいと思っています。